

第601回川崎医学会講演会



日時：令和8年9月18日(金) 16:00～17:00
場所：医大図書館小講堂 座長：西松 伸一郎

「性染色体進化の運命 ～消滅か若返りか～」

The destiny of Sex Chromosome evolution: Gone or Rejuvenated?

広島大学両生類研究センター
客員教授 三浦 郁夫 先生

ヒトのY染色体上には遺伝子が80個前後あり、X染色体の1割程度に過ぎない。最初はY染色体もX染色体と同じサイズ、同数の遺伝子に始まったが、単孔類から分岐して以来、1.66億年の時を経て、ここまで数を減らした。すなわち、Y染色体は退化の一端を辿っており、やがて消滅するという仮説も存在する。一方、他の脊椎動物を見ると、その様相は一変する。特にカエルの場合、98%の種ではY染色体がいまだにX染色体と同じ形、同じ遺伝子数を有しており、常に若返り(Turnover)の現象が見られる。消滅か若返りか、性染色体進化の運命について論じる。

※総合医療センターにてTV会議システムを介して参加をご希望される方は
9月11日(金)までに医学会講演会HPの予約フォームよりご予約ください。
※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課(大学院)へ問い合わせてください。

お問い合わせ先：川崎医学会講演会担当内線：26033

《皆様のご来聴をお待ちしております》